



「子ども安全協定」 を締結しました！

さいたま市では、子どもを地域で見守るため、配達や巡回等の業務で生活道路を行き来している事業者の方々にご協力いただき、「学校安全ネットワーク」をさらに拡充・強化したいと考え、「子ども安全協定」の締結を進めています。



▲ 4月5日㈱ジェイコムさいたまとの締結の様子
(左) ㈱ジェイコムさいたま社長 氏元氏
(右) 桐淵教育長

【協定の内容】

市内で配達や巡回、訪問等を行っている事業者の車に、「私たちは子どもの安全を見守ります！」という表示をしていただきます。業務中は、業務に支障がない範囲で子どもの見守りを心がけていただき、万が一の場合には警察へ通報し、併せて教育委員会にも連絡していただくというものです。

(協定締結者一覧 《平成23年4月25日現在》)

- ・ ㈱J:COMさいたま ・ 大宮自動車(有)
- ・ 赤帽首都圏軽自動車運送協同組合連合会 (埼玉県支部) ・ ㈱埼玉交通 ・ 東京電力(株)
- ・ ㈱武蔵野銀行 ・ 川口信用金庫 (締結順)

今後も「学校安全ネットワーク」

の充実を図るため、他の事業者と、

「子ども安全協定」を締結する予定です。

“Hello Safety” 日進小学校

本校は、次のような取組を行い、安全確保に向けた一層の充実を図っております。

①防犯ボランティア詰所の設置

防犯ボランティアの方々話し合いや休憩等に利用できる詰所を整備しました。(地域の体育振興会の協力により、体育施設用具庫を転用)

②「日進小安全パトロール隊」の胸章・車用ステッカーオリジナルの胸章を作成し、自動車等で通勤する職員等は学区内の移動時に携帯しています。

③防犯ジャケットの活用

全教職員及び校地内にある学童保育の指導員に防犯ジャケットを配布しました。

④見守り活動の多様な展開

「できる時に・できる範囲で」を合言葉に、多くのボランティアのご協力をいただいています。

- ・ お迎えボランティア…下校時に通学路途中まで迎えに出るボランティア
- ・ ハウスボランティア…下校時に家の前まで迎えに出るボランティア

⑤各種ボランティアとの懇談会

防犯ボランティアとの懇談会(年4回)の他、「日進小を守る地域の会」連絡会等をそれぞれ数回開催し、学校と地域との連絡が密になるように努めています。

これらの取組を重ねていく中で、地域の方々とのかわりが一層充実し、「地域ぐるみで子どもを育て見守っていく」という思いが醸成されつつあります。



▲校庭の一部にあった倉庫を詰所に転用



▲車用ステッカーを作成し、地域の防犯力を高める。



防犯ワンポイントアドバイス

平成23年度より、市内全小学校で学校警備員の半日体制を含む「学校安全ネットワーク」体制による子どもの見守り活動が始まりました。これにより、学校及び通学区域全体を見守ることとなり、防犯に対する相当の効果があるものと考えております。多くの地域の方々に「取組例」を参考に、都合のつくときに、できる範囲で子どもを見守っていただくことによって、「学校安全ネットワーク」がより充実するものと考えております。

- 《取組例》
- ・ 登下校時間に合わせた、花壇やプランターの水やり、門掃きなどをしながらの「見守り」活動 (定点による見守り活動…日々の活動の時間帯を意識的に変えることで、地域の見る目があふれる)
 - ・ 登下校時間に合わせた、散歩やジョギング、犬の散歩、買い物を行う「見守り」活動 (日常的な移動にあわせた見守り活動…行動範囲が広いので、見守り範囲も広く有効的)